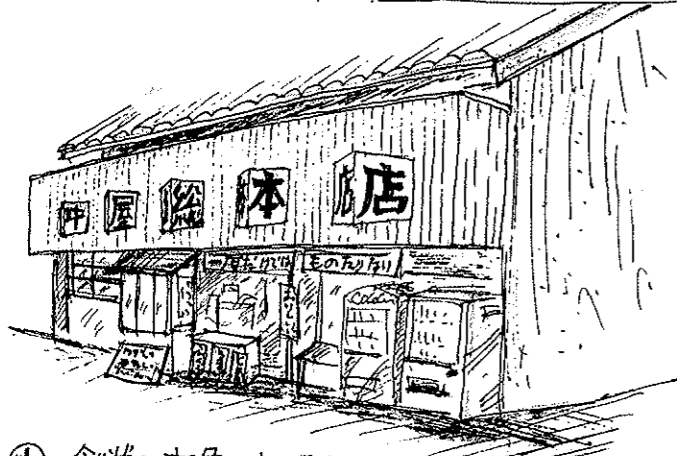


聞くに聞けなかつた

# 店のルーツと屋号

ついに聞きました



④ 創業：文亀元年【1501年】

④ 屋号：中屋総本店

④ 店主の名前：富田國則

④ 屋号の由来：昔、旧友部町市原にお城があり、その中屋敷に富田の先祖が住居を構えていて、中屋敷の敷を以て「中屋」と命名したそうです。

弟が修行を終え、屋号「中屋」をのれん分けしたのですが、敷が多くあり、「系総本店」とつけたそうです。

④ 営業内容：ふくふくまんじゅう、他和菓子の製造販売。

④ 客層：観光客、地元のお客様、中高年と家族連れ若者。

④ スタッフ：家族4名

④ 店主のおもい：門前通りにおいびになる方には、ふらり散策を楽しんでいただき、人との角虫もありを感じていただけたいです。そして「この街に、この店に来て良かった」とお客様に言ってもらえるように努力しています。

④ 創業：昭和初其月

④ 屋号：佐野屋

④ 店主の名前：馬場大栄

④ 屋号の由来：4代前の先人が、木野木集の佐野市内で菓子問屋とアポイントを経営していたのですが、戦後になると、仕入れが難しくなり、土地も何もかも片付けて、笠間へ移り、屋号を「佐野屋」と名付けました。

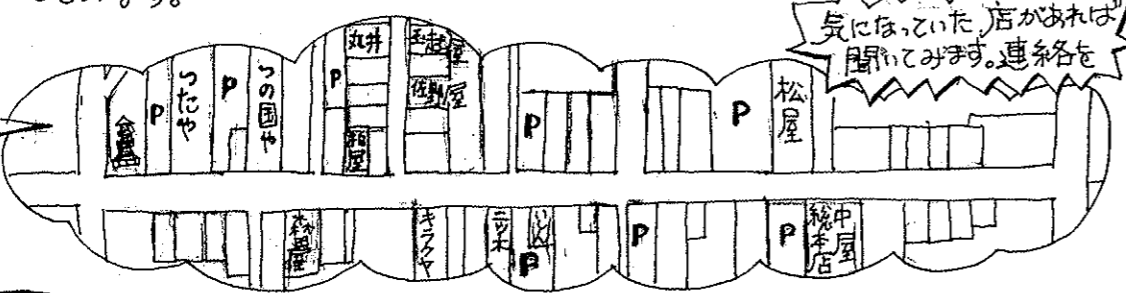
④ 営業内容：土産品

④ 客層：神社参拝客

④ スタッフ：家族2名、従業員2名

④ 店主のおもい：お客様の要望に応じられる商品、思いやりのある接客、多くの店舗が並び、店主達のコミュニケーションがあり、和気あふみの、あたたかい商店街であつたと望む。

既に紹介した店



気になる店があれば聞いてみます。連絡を

平成27年度もかさまち考を開催します。会議や事業への住民の皆様のご参加をお待ちしております。

発行者：笠間稲荷門前通り整備推進協議会  
連絡先：笠間稲荷門前通り整備推進協議会事務局【笠間市都市建設部まちづくり推進課】  
☎0296-77-1101(内線537) E-mail: machizukuri@city.kasama.lg.jp



# 笠間稲荷門前通り通信



第7号

平成27年4月

① 笠間のまちと通りのこれからをみんなで考える会 **かさまち考**  
平成26年度はかさまち考を3回開催し、街並みづくりガイドラインを検討しました。詳細については、次のページに掲載します。

② 平成27年度の取り組み

平成27年度は、かさまち考や商店街・商店会が中心になり、以下のようなことに取り組んでいく予定です。

- ① 笠間朱色を活用した街並みづくり
  - ・笠間朱色を活用して公共空間を系奇麗にする取り組み
  - ・店舗など民間の建物への笠間朱色の推進
- ② 空き店舗対策
  - ・空き店舗を活用しやすくする仕組みづくり。
- ③ 蕎麦いっぱい計画
  - ・プランター作りや、通りで蕎麦の栽培、みんなで蕎麦を食べる会など。
- ④ 笠間浪漫にあわせたイベント
  - ・2年続けてきた笠間浪漫にあわせたイベント、ポスターバスに関して実施の有無も含めて検討。

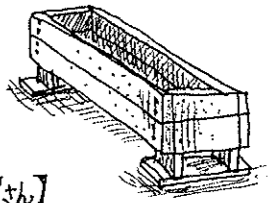


③ みなさんへのお願い

① フォンターカバーづくりへの参加。  
蕎麦のフォンターカバーをみんなで作ります。自分で組み立てたり色を塗ったりします。自分では難しいと思う人でもサポートの人がいるので大丈夫です。  
**是非ご参加ください** 詳細は後日お知らせします。



② ペンキ代の寄付  
門前通りの公共空間を笠間朱色で系奇麗にしていきたいと思います。そのためのペンキが必要です。みなさんからの寄付を募ってペンキを買います。小容量でもいいので寄付をよろしくお願ひいたします。沼田さんが預かりますので、お店【柏屋地】に持ってきてください。



笠間稲荷門前通り  
情報

5月の行事：1日(金)門前市・23日(土)門前ビアガーデン

4月18日～5月10日 笠間つつじまつり

6月の行事：1日(月)門前市・20日(土)門前ビアガーデン

30日(火)「笠間稲荷神社茅の輪くぐり」協賛イベント



# 平成26年度協議のまとめ

## かさまち考とは？

門前通りの道路整備を契機に、門前通りの活性化について住民が意見・提案できる場として『かさまち考』が発足し、道路整備方針が決定後も継続してまちづくりについての会議を開催しています。

平成25年度は、以下のような検討を行いました。

- 街並み・景観づくり
- まちの拠点ポケットパーク
- おもてなしの取り組み
- 他地区との連携・交流
- 防災まちづくり

平成26年度は、12月、1月、2月に3回かさまち考を開催し、街並み・景観づくりに重点を置き、街並みづくりガイドライン案の作成を行いました。



## 笠間朱色の社会実験

平成25年度には、笠間稲荷神社の拝殿の柱の色を『笠間朱色』と命名し、その笠間朱色を活用して統一感のある街並み・雰囲気づくりを進めていく方針が決まりました。

しかし、多くの朱色を入れると失敗する可能性があります。そこで、平成26年度には、いくつかの部品をつくり、並べてみる社会実験を実施しました。

<実験前>



<笠間朱色を入れた場合>



あまり奇抜にならず、落ち着いた雰囲気に、笠間朱色を活用できることがわかりました。蕎麦いっぱいプロジェクトのプランターも笠間朱色にしました。

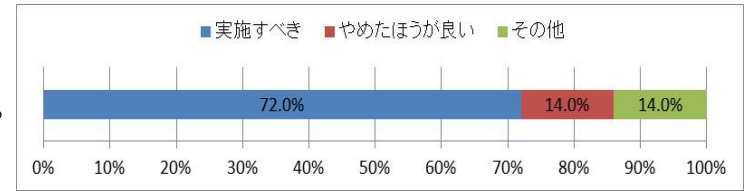
## 街並みづくりに関するアンケート

門前通りの商店主や居住者を対象に、街並みづくりに関するアンケートを実施しました。約100票配布し、58票の回答がありました。

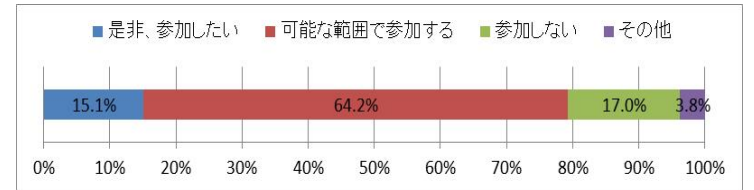
笠間朱色を活用した街並みづくりについては、本格実施すべきと回答した方が約7割いて、可能な範囲での参加まで入れると、約8割の方が笠間朱色の活動に参加すると回答しています。

下に示す街並みづくりのルールについても、賛成と回答する方の割合が多い結果でした。

笠間朱色の街並みづくりの本格実施について



笠間朱色の街並みづくりの参加意向



## 街並みづくりガイドライン案

門前通りに店舗を構える店主や地権者、関係者がまちづくりの方向性を共有し、自らが作るルールに基づき、街並みをつくっていくために、街並みづくりガイドライン案を検討しました。

まちづくりの目標を実現するために、街並み（建物）、道路活用、店舗づくりのルールを検討しました。

### <まちづくりの目標>

- ①笠間の顔となる質の高い空間
- ②佐白山の見える景観を活かす・残す
- ③笠間稲荷神社の雰囲気が感じられる門前通り
- ④お客様に気分よく楽しんでもらえる店舗・サービス

### 街並み(建物)のルールの概要

- ・建物の高さの上限を設けて、佐白山の眺望を残します。
- ・門前通りに相応しい業種で商店街をつくれます。
- ・1階はなるべく店舗や事務所にして、賑わいをつくれます。
- ・看板は、敷地内に設置します。
- ・積極的に笠間朱色を活用します。
- ・派手な色使いや奇抜な形態の建物にはしません。
- ・街並みづくりの助成制度や専門家アドバイザー制度を市に提案します。

### 道路活用のルールの概要

- ・歩きやすさを確保するために、路上駐停車をしないようにします。
- ・露店の出店のルールをつくれます。
- ・歩道上に商品や看板などを置かないようにします。

### 店舗づくりのルールの概要

- ・呼び込みは敷地内で行います。
- ・植物を絶やさないようにします。
- ・分かりやすい表示に心がけます。
- ・騒音や異臭には気をつけます。
- ・不快な印象を与えない服装で接客します。

今後、関係者に確認をとり、ガイドラインを策定し、ルールに沿ったまちづくりを進めます。また、市へ都市計画制度でのルール化を提案します。

**かさまち考は、平成27年度も開催しますので、是非、ご参加ください。**